ニューイヤー駅伝 in ぐんま

第 67 回全日本実業団対抗駅伝競走大会

大会にかかわるすべての皆さまへ　　2022 年 12 月 9 日

一般社団法人

日本実業団陸上競技連合

ニューイヤー駅伝に向けたガイドライン

新型コロナウイルス感染症への対応策

《第 1 版》

2023 年 1 月 1 日(日)

群馬県

【はじめに】

　このガイドラインにおける「大会関係者」とは、以下に挙げる、大会にかかわるすべての方たちを対象とします。冬を迎え、新型コロナウイルス感染症「第 8 波」が到来し、季節性インフルエンザとの同時流行も懸念されている状況下、感染症予防、拡大防止へのご協力、よろしくお願いします。

（監督を含む）エントリー13 名（最大）の競技者には、以下を確認のうえ、大会に参加していただきます。

「３回ワクチン接種歴」

または**「陰性の検査結果」**（ＰＣＲ検査または抗原検査）

競技者用の体調管理チェックシートのワクチン接種歴、ならびに検査結果を回答欄に記入してください（証明書類の添付は不要、自己申告制です）。検査は、可能な限り、群馬入りする 72 時間前以内を推奨します。

今大会は沿道での応援・観戦自粛は求めません。ただし、感染症が急激に再拡大するなど状況しだいでは、応援・観戦の自粛を求める場合があります。

【大会関係者の皆さま】

競技者、監督・コーチ・スタッフなどチーム関係者、出場チーム企業関係者、競技役員、大会役員・スタッフ、協賛社・サプライヤー各社、来賓、競技施設・中継所施設運営者、中継放送局スタッフ、取材メディア、スポーツメーカー各社など、コース沿道を含めた競技会場に来場する、すべての方々。観客の皆さま。

□１□　本ガイドライン策定にあたっては、下記の各ガイドライン、ガイダンスなどを参照しました。

（１）スポーツ庁「スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/detail/jsa_00021.html

（２）日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」

https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html

（３）日本陸上競技連盟「陸上競技再開のガイダンス」

https://www.jaaf.or.jp/news/article/13857/

（４）開催地の群馬県の「新型コロナウイルス感染症」に関する情報は以下のサイトをご覧ください。

群馬県　新型コロナウイルス感染症対策サイト

https://www.pref.gunma.jp/site/covid19/

□２□　群馬陸上競技協会の役員・審判員の皆さまは、群馬陸協が定めたマニュアルにのっとってください。

□３□　後日、保健所など行政当局からの問い合わせに備え、各大会関係者は、

競技会場への往復、競技会場における行動範囲のメモを取っておくなど、追跡調査等がある場合への備えをお願いします。

競技中の競技者以外は必ずマスクを着用（不織布マスクを推奨）。

こまめな手指消毒、手洗いを励行。

屋内では十分な換気を心がける。

■　1　■大会開催の可否判断

（1）　新型コロナウイルスの感染状況に応じ、開催地の群馬県やコース沿線自治体による「大規模イベントの自粛要請」など、行政当局から行動制限を伴う指導に対応し、開催が困難と判断された場合は、大会を中止とします。中止となった場合、次年度の第 68 回大会の地域連盟別出場チーム割り当ては、第 67 回大会と同じ配分とします。ご了承願います。

＜第 67 回大会＞東日本 12、中部 7 、北陸 1 、関西 5 、中国 4 、九州 8

■　2　■大会への参加

（1）　各所属先企業の判断を順守してください。今後の感染状況によって都道府県をまたいでの遠征禁止や全国規模の大規模大会への参加が禁止された場合は、「欠場届」にその旨を記載し、大会事務局に提出してください。

（2）　感染状況によって、チームの活動拠点となる都道府県から、強制力の伴

わない、都道府県をまたいでの移動自粛要請が出た場合は、各チームの判断で、責任をもって参加の可否を判断してください。

（３）　大会開催２週間前（12 月 18 日(日)）以降に、競技者・監督・現場指導コーチのいずれかに新型コロナウイルス感染が確認され、また、同一チーム内の競技者・監督・現場指導コーチ等が濃厚接触者となった場合、当該の感染者及び濃厚接触認定者は出場を辞退し、来場を控えてください。

■□■□■体調管理チェックシートの記入と提出■□■□■

※大会関係者すべてが対象となります

※大会前日と当日、検温チェックで体温が「37・5 度以上」ないことを確認後、大会当日用の検温チェックずみを示すシールを、大会当日にお渡しします。AD カードに貼付してください。シールの貼付がないと、大会当日、AD カードで規制するエリアに入場できません。ご注意ください。

※ニューイヤー駅伝用のチェックシート（Ｅｘｃｅｌファイル）は、当連合ＨＰに掲載します。チェックシートには「エントリー競技者・監督用」と「そのほかの大会関係者用」があります。「エントリー競技者・監督用」には、「ワクチン接種回数」と「検査結果確認」の記入欄があります。

■　３　■大会前と当日

大会１週間前の 12 月 25 日（日）から体調管理チェックシートに検温

結果などを記録。

<出場チームのエントリー者>

①出場チームは、大会前々日（12 月 30 日）の監督会議（13 時 30 分～）の受付時、30 日までの体調管理チェックシートの控えを提出してください（シート原本は各チームで保管）。

②大会前日（12/31）と大会当日（１/１）のチェックシート提出

群馬県庁昭和庁舎１階正面玄関　６時 30 分～８時 30 分

エントリー者全員と AD カード交付対象のチーム関係者の体調管理チェックシートを提出し、確認を受け、問題がなければ検温チェックずみシールの交付を受け。シールはＡＤカードに貼付。

<その他の大会関係者>

それぞれの受付に体調管理チェックシートを提出し、確認を受けてください。

・競技役員・競技補助員＝群馬陸上競技協会。

・交通指導員・沿道自主整理員（ボランティア）＝募集各市・町で集約。

※持ち場の都合上、集約できない場合は、自己申告制で体調に問題がなければ、配置先に直行してください。

・取材メディア＝報道受付

・来賓・企業広報・視察＝昭和庁舎１階正面玄関の実業団連合受付

＜ご注意ください＞

（１）　ＡＤカードの使い回しは厳禁です。体調管理チェック結果の未提出者による使い回しが判明した場合、そのＡＤカードは没収します。

（２）　大会前日と当日、競技会場（中継所含む）来場時に、「３７・５度以上」の体温があり、せき、倦怠感、味覚・嗅覚障害などの新型コロナウイルス感染症特有の症状がみられた場合は、大会への参加をお断りします。はっきりした症状はないものの疑わしいとみられる場合も、大会参加を控えてください。

（３）　大会関係者から感染者が確認された場合、担当保健所や行政機関からの求めに応じ、個人情報に最大限の配慮をしたうえで、当該機関に情報を開示することがあります。

（４）　上記の事例以外では、紙提出のチェックシートは、主催者の日本実業団陸上競技連合が大会終了後１か月間、厳重に管理し、１か月経過後、シュレッダーで裁断処理します。当連合以外で、シートの提出を受けた各団体も、厳正に管理するとともに大会終了１か月後、シュレッダーによる裁断処理など個人情報保護に配慮した方法で処理してください。

■　４　■大会後

（１）　１月２日（月）～１月８日（日）の１週間、体調管理チェックシート記

入による健康観察を継続してください。異常がなかった場合は、報告・シートの提出の必要はありません。

（２）　万が一、感染が確認された場合は、日本実業団陸上競技連合に報告してください。当連合では個人情報の取り扱いに最大限配慮し、担当保健所、行政機関の指導のもと、濃厚接触者と認定される可能性がある方たちがいた場合、その旨を該当者に伝え、感染拡大の抑止に努めます。

■　５　■応援・観戦について

（１）　今大会では、沿道での応援・観戦の自粛は求めません。ただし、出場チームは、大会要項に記載があるように、「応援計画書」を各所属連盟に提出してください。応援・観戦する際は、各人の間に十分な間隔を空け、マスクは必ず着用し、大きな声を出すことは控えてください。

（２）　応援・観戦で競技会場に来場予定の方は、来場前に検温し「３７・５度以上」の体温が判明した場合、来場を控えてください。

（３）　ADカード着用者のみがアクセスできるエリアへの入場は禁止です。

■　６　■AD（Accreditation）カード（大会参加資格認定証）

（１）　ＡＤカードによる立ち入り規制があるエリアに入場できるのは、主催者が大会参加資格を認定し ADカードを付与した方たちに限られます。「密」を回避し、感染リスク低減の観点から、ＡＤカードの発行枚数は、各カテゴ

リーの必要に応じて上限を設けています。

（２）　ＡＤカードの種別によって入場（アクセス）可能エリアが分かれますので、ご注意ください。

＊出場チーム・企業には、競技者・監督を含め、以下の枚数のADカードを交付します。新型コロナウイルス感染症の「第８波」が到来した状況を鑑み、規制エリア内の「密」を防ぐため、交付枚数は昨年までと同様、上限を設けます。

ニューイヤー駅伝　上限22枚（競技者最大12＋監督１＋その他９）

「監督・コーチ・選手」上限 16 枚、全体上限との差し引きが「チーム関係者」

※出場チーム・企業向けのＡＤカードは「選手・監督・コーチ」「チーム関係者」の２種類があります。「チーム関係者」ＡＤの保有者は、スタート・フィニッシュ地点と中継所の各規制エリアには入場できません。

事前に上限の枠内での割り振りを聴取し、大会前日の監督会議受付の際にお渡しします。

エントリーした競技者数が最大値に満たない場合は、その満たない分をチーム関係者が利用することができます。チーム・企業は、その枠内で、会社関係者に割り当ててください。

（例１）　　選手・監督・コーチ＝１６枚、チーム関係者６枚

（エントリー選手がフルの１２人に監督１人、コーチ３人の内訳）

（例２）　　選手・監督・コーチ１３枚、チーム関係者７枚

（エントリー選手１１人に監督１人、コーチ１人の内訳）

■　７　■大会を迎える前に

＊日々の練習、日常生活における感染予防に努めてください。

競技の特性から接触頻度の多いプレーが避けられない競技・種目では、感染の事例が今もって全国各地から報告されています。

＊「３密」の回避やマスク着用、手洗い・手指消毒の励行、社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保、マスクを外したままでの長時間に及ぶ大人数での会食を控えるなど、感染予防に努めてください。改めて、細心の注意をお願いします。

＊事前のコース下見や試走を行う際は、コース沿道の皆さまに不安感や不信感をいだかれるような行為は厳に慎んでください。車で移動する際は、交通法規を遵守し、駐停車のマナーを守ってください。

■　８　■大会会場への往路・復路の移動中

＊公共交通機関を利用する場合は、「密」の回避やマスク着用、手洗い・手指消毒の励行など、感染予防に努めてください。また、同行者との大声での談笑を慎むなど、周囲の人たちへの配慮をお願いします。

＊自家用車やバスなど、車で来場する場合も、車内の換気や、適切な距離の確保

など、感染リスクの低減に努めてください。

※競技終了後、帰る際は混雑を避け、時間差の移動を心がけてください。

■　９　■大会開催前の練習会場利用

＊練習会場を利用する場合は、各人で検温のうえ、「３７・５度以上」の体温がある場合は、利用を控えてください。

■　１０　■関連施設等を使用する場合の一般的注意事項

＊「３密」とならないよう、ソーシャルディスタンスを確保し、ご利用ください。競技者は、競技中、ウオーミングアップ、クールダウン中以外は、マスクを着用してください。

＊周囲に人が集まる場所では、マスク着用であっても大声を上げるのはおやめください。

＊ごみ箱は設置しません。ごみは各人で持ち帰ってください。とくに、不要となったマスクや手指消毒した際のティッシュペーパー、布類などのごみは、密封したごみ袋などで持ち帰るよう、衛生管理に工夫をお願いします。

■　１１　■監督会議

＊「３密」を回避するため、会議の出席者は各チーム１名のみとします。

会場は、群馬県庁昭和庁舎２階「第一展示室」です。

■　１２　■スタート地点、中継所での競技者の招集

＊招集時、入退場時とも「３密」を避けるため、現地では競技役員の指示に従ってください。

■　１３　■更衣室

＊「３密」を避けるため、適切な使用方法への協力をお願いします。短時間での利用、付き添い者も極力入室しないか短時間の入室ですませるなど、工夫してください。第１区走者の更衣・待機スペースとなる群馬県議会庁舎内に、激励目的で入館するチーム関係者が毎年大勢いますが、「密」回避のため、入館はご遠慮ください。

■　１４　■チーム関係者による沿道での指示・声援

＊レースに出場しない控え選手や監督・コーチ・スタッフなど「選手・監督・コーチ」や「チーム関係者」の各ＡＤカード保持者が沿道から指示・声援を送る場合は、周囲に人が密集していないことを確認するなど、他者との適切な距離を確保する。同一チーム内であっても各人のソーシャルディスタンスの確保に努め、周囲に配慮し、飛沫を防ぐ工夫をしてください。

　歩道を競技中の選手と並走する行為は危険です。事故が起きた場合は大会の存続にかかわりますので、絶対におやめください。

■　１５　■表　　彰

＊「３密」防止の観点から、引き続き簡素化して実施します。出席者は８位入賞チームと区間賞獲得者など表彰対象者のみに限定します。

順位表彰対象の１～８位チームは、監督と出走した選手７名が出席。

プレゼンター側は贈呈時以外、マスクを着用。テレビ・写真撮影への対応の際は、競技者・監督はマスクの着用は不要です。セレモニー終了後はすみやかにマスクを着用してください。

贈呈側も出席者を絞り込み、表彰状の読み上げやあいさつ等を可能な限り省略して簡素化に努めます。

なお、競技終了後、各チームがフィニッシュ地点周辺で実施する報告会等では「３密」を避けてください。立ち入り制限エリア内での報告会はおやめください。報告会終了後の滞留は避けてください。帰途に就く際も、「３密」を避けるなど、地域の方々への配慮をお願いします。

■　１６　■オーダー表・記録の取り扱い

＊「３密」を回避するため、当連合 HP の速報コーナーをご利用ください。

■　１７　■取　　材（詳細は取材要項に記載）

＊「３密」防止のため、取材者の総数、及び各社の来場者に上限を設けるとともに、事前申請とします。ただし、ライツホルダーである毎日新聞社、TBS テ

レビの人数は別枠として取り扱います。

＊記者室利用、撮影時、取材時は「３密」を避けるため、競技役員の指示に従ってください。また、各人で話し合って適切な距離を置くなど「３密」回避への工夫をお願いします。

＊付帯施設を含め会場内ではマスクを着用してください。こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。

＊大会前々日の公式記者会見は、別途開催方法をご案内します。

＊競技終了後、優勝チームの記者会見は、表彰式に引き続いて、群馬県庁１階の県民ホールにて開催します。ソーシャルディスタンス確保にご協力願います。

■　１８　■企業広報（１社２名以内）への対応（別途ＨＰに案内を掲出します）

※来場者総数抑制のため事前申請制です。申請期限以降の申請は、大会直前の準備に支障をきたすため、原則受け付けません。

＊スタート・フィニッシュ地点は、「３密」防止の観点から、メディア用撮影位置を利用できるのは報道機関のみです。企業広報の皆さんは、競技運営や観客の観戦の妨げにならない、そのほかの位置から撮影してください。

＊地域の方々に不安感、不信感をいだかせるような行為は厳に慎んでください。地域の方々から苦情が寄せられた場合、事情を確認のうえ、マナーに反する行為が認められた場合は、ＡＤカード、撮影用ビブスを没収する場合があります。また、競技終了後に判明した場合は、次回大会の企業広報用ＡＤカードの交付

をお断りする場合もあります。

＊車で移動する場合、駐停車も含め交通法規を厳守してください。あらかじめタクシーをチャーターする場合は、運転手の方の体調管理に各企業が責任をもって対応してください。タクシー利用者が大会終了後、発熱などの症状があった場合は、誠意をもってタクシー会社への説明と対応をお願いします。

＊群馬県が用意する応援ポイント用の駐車場案内を大会ＨＰに掲載しています。余裕をもっての計画的な行動をお願いします。

■　１９　■視察希望者（別途ＨＰに申請書を掲出します）

＊来場者総数抑制のため事前申請制とします。申請期限以降の申請は、大会直前の準備に支障をきたすため、原則受け付けません。

＊来場者総数抑制のため、視察をお引き受けするのは、①実業団登録選手の招待・出場実績があるロードレースの主催者・実行委員会メンバー等、②実業団選手の強化合宿受け入れ先の自治体・宿泊業界団体等（個人、１企業単位での申請は受け付けません)、③出場チームとユニホーム・シューズ等で提携・支援関係にあるスポーツ用品メーカーに限定します。

個々の選手と個別の契約・提携関係にあるメーカー等は対象外です。

セールス目的の企業・団体の申請は受け付けません。

■　２０　■おもてなしイベントや交流事業等

＊中継所での歓迎おもてなしイベントは各自治体の判断で実施します。大会前日の練習会場となる正田醤油スタジアム群馬（県立敷島公園）での「前日練習見学会」は、マスクの着用、「３密」の回避、ソーシャルディスタンスの確保など、感染症対策を施したうえで実施します。

■　２１　■企業応援者のスタート・フィニッシュ地点立ち見エリア入場

＊スタート・フィニッシュ地点となる群馬県庁前に、出場チームの企業応援者用の立ち見エリアを、群馬県が設けます。

１社につき３名まで。スタート、フィニッシュで別々の人選にするか、同じ顔ぶれにするかは、各企業にお任せします。

整理券の配布方法は別途、ご案内します。

エリア内では必ずマスクを着用し、声を上げての応援はご遠慮ください。拍手で選手を激励・慰労してください。

立ち見エリアへの入退場に際しては、混雑回避のため、係員の指示に従ってください。指示を無視しての移動は事故にもつながりかねませんので、指示に従ってください、指示を守れない場合は、以後の入場をお断りする場合があります。

なお、立ち見エリアには一般の方たちは入場できませんので、ご注意願います。